

事務事業名	病院群輪番制病院運営補助事業				担当	健康福祉部 健康増進課 健康支援係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり				増補版施策名	III-1 芳賀日赤との連携強化による地域医療の充実		
施策名	7	地域医療体制の充実				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略					事業期間	☐ 単年度のみ		
法令根拠	救急医療対策事業実施要綱（厚生労働省）						☒ 単年度繰返（開始年度 昭和53 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1. 保健衛生費	1. 保健衛生総務費			☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	休日及び夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の医療を確保することを目的として、芳賀地区広域行政事務組合との連携のもと、地域の実情に応じて、病院群輪番制方式による「第二次救急医療施設」を整備し、初期救急医療施設及び救急患者の搬送機関との円滑な連携体制を構築する。 指定する医療機関としては、次の基準を満たす病院である。 医療施設、診察室、処置室、手術室、薬剤室、X線室、検査室を有する。 救急患者が必ず受け入れられるよう、病床を確保する。 平成19年度から病院群輪番制病院は芳賀赤十字病院の1病院が実施している。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 2次救急患者に対し、病院が休日及び夜間に診療を行うことに対する運営費補助を国1/3県1/3芳賀都市1市4町で1/3の負担で実施した。 負担金の支払い事務を年4回実施した。 31年度計画 平成30年度と同様				⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
				名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
				ア 病院群輪番制病院数	か所	1	1	1	1	1	
				イ 負担金額	千円	26,327	23,670	23,670	27,110	27,110	
				ウ							
				エ							
				オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 病院群輪番制病院				⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
				名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
				ア 病院群輪番制病院数	か所	1	1	1	1	1	
				イ							
				ウ							
				エ							
				オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 休日や夜間の2次救急医療を確保する。				⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
				名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
				ア 病院群輪番制病院数	か所	1	1	1	1	1	
				イ							
				ウ							
				エ							
				オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 休日や夜間の2次救急医療を確保し救急医療体制の充実、救命率の向上を図る。				⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
				名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
				ア 救急車、救急病院の対応満足度	%	76.8	74.2	74.5	74.4	74.4	
				イ (市民意向調査)							
				ウ							
				エ							
				オ							
(2) 総事業費の推移						単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0	0		
			一般財源	千円	26,327	23,670	23,670	27,110	27,110		
			事業費計(A)	千円	26,327	23,670	23,670	27,110	27,110		
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
			延べ業務時間	時間	8	8	8	8	8		
			人件費計(B)	千円	34	33	33	33	33		
			トータルコスト(A)+(B)	千円	26,361	23,703	23,703	27,143	27,143		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？		国及び県の補助事業により、昭和53年8月1日から芳賀赤十字病院を病院群輪番制病院に指定し、昭和53年度から芳賀地区広域行政事務組合との連携のもと、芳賀都市1市4町で補助を開始した。									
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		当初は芳賀赤十字病院だけが病院群輪番制病院に指定されていたが、平成17年度は、臨床研修医制度の影響で医師数が減少したため、芳賀赤十字病院でも医師不足が生じ、二次救急医療を福田記念病院、真岡病院、自治医大附属病院、獨協大病院、済生会宇都宮病院に依頼した。平成18年度は芳賀赤十字病院、自治医科大附属病院、獨協医大病院の3病院に依頼し、平成19年度からは芳賀赤十字病院の医師確保により、芳賀赤十字病院の1病院に依頼している。									
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？											